

剪 定 「一果入魂」こだわりを持った生産管理に努めよう

◎密植園は間伐を優先して行ないましょう。

本年産は全体的には裏年にあたりますが、樹勢の弱っている樹も多く見られます樹に応じたせん定を行いましょ。

・樹勢の弱っている樹（落葉、枝枯れ）

4月なつて春芽が発芽した後に軽めの間引きせん定、枯れ枝の除去を行いましょ。

・樹勢のしっかりした樹（3月上旬に実施）

表年の樹 間引き主体に切り返しを入れてやや強めのせん定。太枝の間引き、樹高の単縮、内向枝の整理、側枝の短縮、下垂枝の切り上げ、予備枝の設定と夏秋梢の整理が主なポイント。（除葉率 20%）

裏年の樹 軽めのせん定。かぶさり枝や下垂枝を切除だけでも十分に効果がある。（除葉率 10%）

春肥の施用

● 春肥は開花、結実、果実肥大に必要な養分を供給します。基準量を適期に施しましょ。

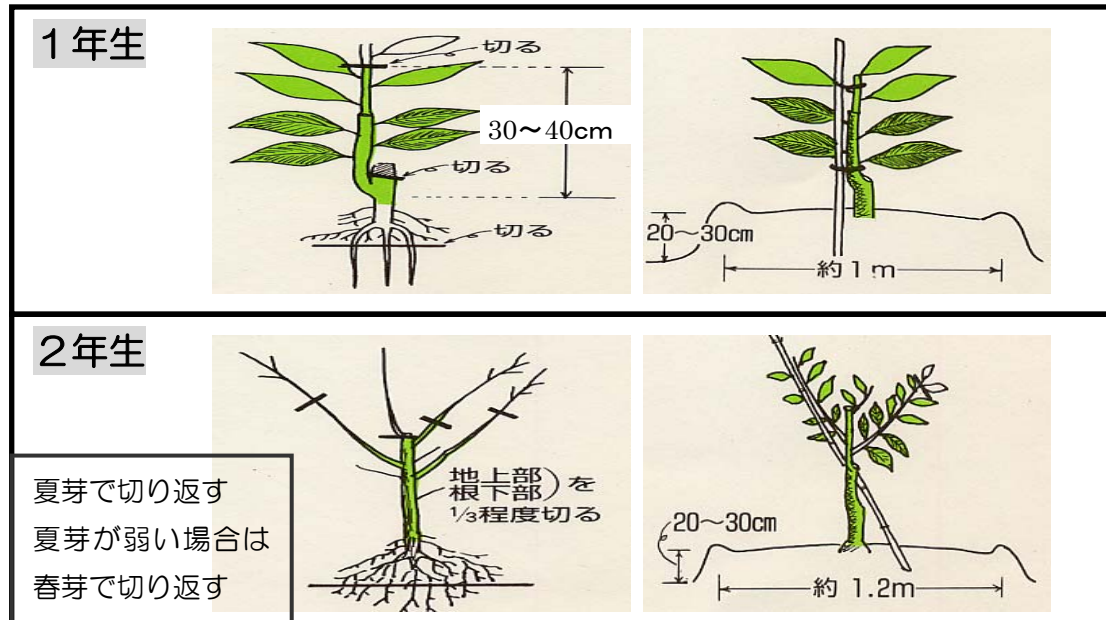
品種	施肥時期		柑橘1号	柑橘5号
極早生	1回目	3月中旬	4袋	5袋
	2回目	4月下旬	5袋	7袋
早生温州	1回目	3月中旬	5袋	6袋
	2回目	4月下旬	6袋	8袋

品種	施肥時期	柑橘1号	柑橘5号
中生・普通	3月下旬	5袋	7袋
高糖系	3月下旬	6袋	8袋
中晩柑	3月下旬	6袋	8袋

苗木の植え付け

植え付け手順

- ① 植え穴には完熟堆肥30kg、ヨウリン300~500g、サンライム1.2~2kgを入れ土と混ぜ合わせましょ
- ② 3月中旬~4月上旬に植え付けをおこないましょ
 - ・根はよくひろげ、土になじませて植いましょ
 - ・根を活着させ生育を旺盛にする為に必ず支柱を立てましょ
- ③ 植え付け後は十分に灌水しましょ



病虫害防除

時期	病虫害	防除薬剤
3月上旬	ミカンハダニ	アタックオイル 60倍（樹勢の弱っている樹は控える）
3月中旬	かいよう病	ICボルドー66D 25倍~40倍（発芽前）

注1：アタックオイルの散布は冬期に散布していない園が対象です

注2：ICボルドー、調整ボルドーの散布は、アタックオイルの散布後14日程度は間隔をあけて散布して下さい。

注3：かいよう病多発園は、4月下旬にICボルドー66D 80倍+アピオンE 1,000倍を散布。

春草の除草

地温の上昇にともない春草の生育が活発になります。

草と樹の養分競合を防ぐため早めに春草の除草をおこないましょ

使用薬剤	適用雑草名	10a 当たり使用量	
		葉量	希釈水量
ラウンドアップマックスロード（吸収移行型）	1年生雑草	200ml~500ml	通常散布 50~100ℓ 少量散布 5ℓ、25~50ℓ
	多年生雑草	500ml~1,000ml	
サンフーロン液剤（吸収移行型）	1年生雑草	250ml~500ml	通常散布 50~100ℓ 少量散布 25~50ℓ
	多年生雑草	500ml~1,000ml	
バスタ液剤（接触型）	1年生雑草	300ml~500ml	100~150ℓ
	多年生雑草	500ml~1,000ml	

※少量散布（5ℓ/10a）は専用のラウンドノズルULV5を、少量散布（25~50ℓ/10a）はラウンドノズルLV25を使用して散布。

落葉果樹

《ウメの管理》

作業	時期	内容
春肥の施用	3月上旬	柑橘有機配合1号（8・6・4） 2袋/10a
灰色かび病	3月下旬	ストロビードライフフロアブル2,000倍
アブラムシ防除		ダントツ水溶剤4,000倍

野 菜

《タマネギの管理》

作業	内容
べと病防除	春先の気温が高いと「べと病の発生」が危ぐされますので雨の前にジマンダイセン水和剤400倍を散布しましょ。（ネオエステリン5,000倍を添加）3月中旬以降はリドミルゴールドMZ1,000倍を散布しましょ。
除草	雑草が多いと養分競合を起し、極端に肥大が悪くなりますので除草しましょ